

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱
工期	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日		作成者	加藤 雅人
作業名称	コンクリート舗装補修	作業手順書	作成年月日	令和2年10月12日
使用機械 使用設備	2~3tダンプトラック、連絡車		改正年月日	令和6年7月25日
	4t移動式クレーン車		現場責任者	
使用工具、機器	スウィーパー(手押し式)、コンクリートブレーカ(21.2kg)、コンプレッサー(1.56m ³ /min)、スコップ、ほうき		協力会社	会社名
	エンジンカッター、高圧洗浄機(50-100kgf/m ³)、水タンク(500L)、掃除機		協力会社責任者	自筆サイン
保護具	ヘルメット、安全靴、脚絆、自発光チョッキ、防護メガネ、マスク、手袋、視認性の良い作業着		作業順序	
材料	エムケイクリート45・・・20kg/缶		1	現地確認
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	自動車運転免許証(大型もしくは中型及び準中型)※車両の規格に応じて		2	準備作業
	特別教育:職長・振動工具取扱		3	墨出し・マーキング
作業人員	作業責任者 1人、作業員 4人、保安員 2人		4	カッター工・はつり作業
	合計 7名		5	清掃工
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日	6	練り混ぜ・充填・コテ均し
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自筆サインする)		7	養生
			8	後片付け

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
現地確認(全員)									
	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	周辺安全確認 (埋設物・構造物)	管理用図面で事前確認							
準備作業(全員)									
	ミーティング	健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。工事車両がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。							
墨出し・マーキング(職長)	施工箇所のマーキング	点検ハンマーで再度現場確認	点検・調査中、作業車にひかれる	○	×	○×	3		正対方向で作業を行うこと。また、退避場所の確認やハンドル切・輪留め・サイドブレーキを確実にを行う。
カッター工・はつり作業 (作業員)	墨出し範囲をブレーカーで 切削	所定の幅、深さに十分注意 する	振動工具の連続使用で振動障害になる はつり片が飛散し、作業車・作業員へ当たる	△	△	△△	3		振動工具の連続使用時間を守る。(1日2h以内、一連続作業時間10分以内→5分以上の休止時間) はつり作業中(カッター含む)は防護メガネ・マスクを着用する。また、飛散防止ネットを設置する。
清掃工(作業員)	清掃し、ゴミや砂埃を取り 除く	散水することで着上り易	切削後の段差でつまずき転倒する	△	○	△○	2		段差ができていところはライトで明るさを保つようにする。
練り混ぜ・充填・コテ均し (作業員)	MKクリートを容器に入れ、 水を加え練り混ぜる	ダマがなくなるまで練り混ぜる こと	路肩に置いた養生テープやスプレー缶、台車などが転がり、転倒の原因となる。	△	○	△○	2		転がりやすい道具等は全て工具箱へ入れ、台車は車輪ロックを確実にに行い、輪留めを設置する。
	速やかに補修箇所に充填 する	水平になるように充填する	攪拌中に、材料が飛散し、目や口に入る	△	△	△△	3		攪拌、充填、コテ作業中は防護メガネ・マスクの着用を徹底する
	コテで均す	フチ面はコテで擦り付ける ように充填すること	材料等の重量物を降ろしたり運ぶ際に腰を 痛める	×	○	×○	3		重量物を運ぶ際は、2名以上で声を掛け合いながら運ぶ。
養生	空中養生もしくは散水養生 する。	動噴を使用し急激は乾燥を 避ける。							動噴使用時過度な散水は効果不良の原因となるため避ける。
後片付け(全員)	清掃作業を行う	ほうき、プロアワーで清掃する							工事車両を取外した場合は専用のケースに 確実に格納し車内に保管する事